

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

学校名( 京都市立下京中学校 )

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					自己評価		学校関係者評価			
・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理					評価日	平成28年2月10日		評価日	平成28年2月26日	
					評価者・組織	学校評価部		評価者(いずれかに○)	○学校運営協議会 ○学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策		学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策	
1	確かな学力	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の充実 家庭学習の充実 総合的な学習の時間の充実	校内研究のテーマに掲げ、教科会やチーム会議を中心に授業改善を図る 家庭学習課題を毎日出し、本校独自の手帳を活用した計画的な家庭学習の指導 探究・伝統文化体験・キャリア・人権の4つの分野での系統的な学習の実践	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている 自分で計画を立てて勉強している 探究学習は充実している 伝統文化体験は充実している(教職員アンケート)	「そう思う・どちらかといえばそう思う」が71%(5ポイント上昇) 「よく当てはまる、大体当てはまる」が約60%(20ポイント上昇) 「よくできている・大体できている」が、探究は62%、伝統文化が76%(変化なし)	⇒	・キャリア教育実践計画書をもとに、キャリア教育の視点をもった授業が展開できている。 ・家庭学習の時間が短いという課題は昨年度より改善しているが、計画的に学習することには課題がある。 ・総合的な学習の時間では、4つの分野の特色のある取組が展開できている。	⇒	・授業改善に向け努力している様子が伝わる良い授業が行われている。 ・伝統文化体験(着付け教室・ゆかた登校)において、地域女性会が協力しているが、今後も引き続き支援をしていきたい。	・地域の協力のもと、学力向上に向けての研究等をより推進できた。 ・茶道体験・和食調理体験等の伝統文化体験において、多くの支援を行った。
2	豊かな心	自己肯定感の育成 自他を尊重できる人権教育の充実 規範意識の醸成	学活や通信等を活用し、生徒の活躍を伝える場面を増やす 学級・学年活動の中で他を思いやりや協力する態度を身につけるとともに、人権学習を充実させる 日常生活へのきめ細かい配りを行い、タイムリーな指導を行う	自分には良いところがあると思っている 子どもは仲間を大切に行動ができている 子どもはルールや決まり事を守ることができている	「よく当てはまる、大体当てはまる」が約50%(13ポイント上昇) 「よくできている・大体できている」が95%(変化なし) 「よくできている・大体できている」が82%(変化なし)	⇒	・集団活動での達成感は味わっているが、自分に良いところがあると思えないという生徒が多い。 ・教職員間で綿密な情報交換を行い、いじめを見逃さず、生徒の心に寄り添った指導ができています。 ・家庭と連携ルールを守る指導等ができています。	⇒	・自転車の運転マナーの徹底や、登下校時の挨拶が十分できていない。 ・いじめ問題も含め、人間関係で悩む生徒が多く、その対応について質問があり、SCやいじめ対策委員会での取組について報告した。	・自転車の安全利用のために、警察等と積極的に連携をとりながら指導を徹底していくことができた。 ・家庭での会話を増やし、生徒の変化を早期に気づくことの大切さを確認した。
3	健やかな体	基本的な生活習慣の確立 健康教育の充実	保健便りを活用した健康増進への啓発活動を行う 目・歯・防煙・薬物乱用防止の健康学活を計画的に行う	朝食は毎日食べている 毎日よく眠れている 視力検査・歯科検診後の受診状況結果	朝食はほとんど生徒が食べているが、18%の生徒は「よく眠れていない」と回答 視力低下・目の疾患・う歯・歯周疾患が疑われる生徒の受診率が60%	⇒	・ケータイ・スマホの時間を前らず学習時間を確保しようとするために睡眠時間が短くなっている。 ・歯について、歯磨きの習慣が十分定着しており、良い歯の表彰を多数の生徒が受けた。	⇒	・学校側よりLINEやメールでのトラブルが多く発生しており、その対策について苦勞をしているとの報告をし、意見を求めた。	・生徒の様子をきめ細かく観察し、ストレスを発散させるための場所や時間の確保について検討することを確認した。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 キャリア教育の推進 情報発信の充実	連携主任を中心として、合同研修や児童生徒の交流行事を通して一貫教育を推進する 基礎的・汎用的能力を育成するための生活指導や行事運営を進める 学校HPや学校たよりを活用し、タイムリーな情報発信を行う	研修会・交流行事の運営状況や、参加者の感想 自分から役割や仕事を見つけたり、分担しながら、周囲と力を合わせて行動する たよりやホームページで学級・学年・学校の様子がよく分かる	研修会では活発な意見交換が行われた。交流行事では良好な感想を 「よくできている・大体できている」が95%(5ポイント上昇) 「そう思う・大体そう思う」が78%(変化なし)	⇒	・小中での情報交換が綿密に行われ、円滑で一貫した取組が進んでいる ・日常生活をキャリア教育の視点で見つめ直し、汎用的能力の育成に努めた。 ・毎週のHPの更新と月1回のたよりを発行ができています。	⇒	・小学校との文化の違いを理解し、互いの良さを取り入れた教育を進めてもらいたい。 ⇒HPや学校便りを通じて、学校の様子がよく分かる。	・小学生の部活動体験をより活発に行い、相互理解を深められた。 ・行事や授業への保護者の参観者を増やすための働きかけを進めることを指摘された。

4 総括・次年度の課題

- ・学校評価部を中心にして学校評価を適切に行うことができたが、学校評価について教職員全体への周知は十分ではなかった。
- ・アンケート等各種の指標の設定を適切に行い、学校評価の充実を図ることができた。
- ・学校関係者評価や自己評価をもとにした教育活動全体の検証により重点おき、効果的な行動計画の作成に役立てる。